

2020年12月28日

立憲民主党北海道総支部連合会 様
日本共産党北海道委員会 様

北海道衆議院2区補欠選挙での市民と野党の共闘による

統一候補実現のための合意を求める要請書

市民の風・北海道

共同代表 上田文雄 山口たか 川原茂雄

吉川貴盛元農水相が病気を理由に議員辞職しましたが、これはあきらかに業者からの現金受領疑惑によるものであり、安倍前首相の森友・加計・桜を見る会の問題や河井夫妻の買収問題とも同根の自民党における腐敗した「政治とカネ」の問題によるものです。菅政権はこれらの「政治とカネ」の問題に正面から向き合おうとせず疑惑に蓋をしたまま幕引きをはかろうとしています。けっして許されることなく、疑惑の徹底した究明が求められます。また、感染拡大が収まらない新型コロナウイルス対策、とりわけ医療関係者や生活に困窮している人々への緊急の対応が求められているにも関わらず、菅政権には真剣に国民の命と暮らしを守る姿勢は感じられません。

吉川議員の辞職によって衆議院北海道2区では来年4月25日に補欠選挙が実施されることになりました。この選挙は菅政権発足後初めての国政選挙であり、来年予定される総選挙の前哨戦として、政権に厳しい審判を下す絶好の機会です。是非とも市民と野党の共闘によって統一候補を実現し、必ずや勝利を収めなければなりません。北海道では2016年の衆議院5区補欠選挙から始まった平和と民主主義、憲法を守るための市民と野党の共闘の取り組みの積み重ねがあります。その中でつちかってきた絆と信頼関係にはゆるぎないものがあり、この2区補選においても共闘を前進させ統一候補を実現できるものと信じております。

この選挙での勝利は、北海道すべての選挙区での市民と野党の共闘だけでなく、日本全国のすべての選挙区における共闘に多大な影響を及ぼすことになると思います。そのことによって8年間続いてきた、憲法を蔑ろにし、ウソと改ざん、捏造、忖度、政治の私物化の極みである自公政治に歯止めをかけ、日本の政治の流れを大きく変える契機になることは間違いありません。つきましては、2区補選における市民と野党の共闘による統一候補実現のために、両党の共闘合意と政策合意の協議をすみやかに進めて頂くよう要請いたします。

共闘のための合意についての要請事項

1. 来る衆議院北海道2区補欠選挙において、市民と野党の共闘による統一候補実現のために、以下の三点においての共闘合意をはかってください。
 - ① 政治とカネの問題を徹底究明します。
 - ② 新型コロナウイルス感染問題への緊急対応を進めます。
 - ③ 市民と野党の共闘で日本の政治の流れを変えていきます。
2. 早急に代表者および幹事長書記長どうしの会談をおこない、衆議院北海道2区補欠選挙における市民と野党の共闘による統一候補実現のための政策合意の協議を進めてください。
3. 市民と野党の共闘による統一候補が実現したあかつきには、その勝利にむけて市民とともに互いに全力を尽くしてください。

以上

連絡先

川原茂雄 090-8278-4990

小林久公 090-2070-4423